

個人質問(3月5日) 藤井ひろき議員

「お庭が寒くなった！」

## 相次ぐ近隣ビル建設で、幼稚園がますます日影に 条例強化で子どもたちの日照守れ

### 建築主側のいっそうの「配慮」が必要

藤井ひろき議員は5日の本会議で、中高層ビルの建設にともなう教育施設等の日影問題を取りあげました。

#### 「力(ちから)不足だった」(市長)

「お庭、寒くなった！」「園児が健康に育つ環境を守って」。藤井議員は、隣接地のマンション建設による日照被害で係争中の、名古屋教会幼稚園(中区丸の内)の園児や教員からの訴えを紹介。「市長みずから建設前に同園を訪れ、『なんとかせな、あかん』と話されたそうだが、結局建ってしまった。この間どんな指示をしたのか」と質しました。



ビルで日影になる幼稚園

河村市長は「担当職員に何とかならんかと指示したが、法律上のこともあり、残念だがそういう結果になった。力不足だった」と答えました。

#### 昨年度だけで61件も 教育施設等に影を落とす中高層ビル建設

市は条例で、教育施設に影響を生じさせる中高層建築物を建築する場合は、日影の影響について配慮や協議を求めるよう定めています。しかし商業地域では高さ制限や容積率限界までの高いビルが建てられる場合が多く、わずかな日照すら、今後失われる恐れがあります。条例の対象となる物件は、昨年度だけで61件のぼりました。

藤井議員は「都心部であっても、子どもの健全な発達に必要な環境は、私たち大人がしっかり守らなければならない」と力説。「教育施設周辺の建物の高さを規制できないか」と質問しました。



住宅都市局長は答弁で「建築基準法上、日影規制はできない。できるだけ紛争が起きないように建築主に配慮や協議を求めたい」と述べるにとどまりました。

藤井議員は「にぎやかな街づくりと子育てしやすい街づくり。このバランスが取れたまちづくりが重要だ」と指摘。「日影規制がなく、周辺の建物から次々と日影が生じてしまう商業地域では、(建築主側の)一層の配慮が必要ではないか」と質しました。

#### 「指摘を踏まえ、周辺建物による日影の影響も考慮するよう指導する」(局長)

これに対し局長は「指摘を踏まえ、自らの建物だけでなく、周囲の建物による影響も可能な限り考慮するよう指導する」と答弁。



アピールする幼稚園関係者

藤井議員は、条例をより実効性あるものに強化するよう市長に強く求めました。

## 区役所・支所での 「死亡後手続き」

「家族を亡くしたショックもある中、不慣れな手続きに戸惑った」。こんな訴えが藤井議員に相次いで寄せられています。

家族が亡くなると、世帯主変更届や介護保険証被保険者証・後期高齢者医療被保険者証の返納、国民健康保険の葬祭費請求、遺族基礎年金の請求など人によっては10以上の手続きが必要です。しかも区役所の担当窓口はバラバ



松坂市役所「おくやみコーナー」

## 担当窓口バラバラ、遺族は庁舎内を右往左往 「おくやみコーナー」設置を提案

ラ。高齢の遺族には大きな負担です。

藤井議員は、これらの手続きをワンストップで行える、三重県松坂市役所の「おくやみコーナー」(専任職員が対応)に触れ、「最初に訪れる区役所の市民課で導入してはどうか」と提案しました。

#### 「他都市の取り組みを参考にする」(局長)

市民経済局長は「他都市の取り組みも参考にしながら市民満足度の向上に努める」と答弁。

藤井議員は、2022年度に移転改築予定の中村区役所での試験的導入を提起しました。